

皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

- ◇例会日
- ◇例会場
- ◇事務所



第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp

UNITE
FOR
GOOD

よいことのために手を取りあおう

第1710回例会 令和7年11月27日(木)

【会長の時間】

畝 徳治

皆さん、こんばんは。今年度夜間例会は謡曲になります。話題を先に出します。引用されている和歌という事です。これに関連して説明をして、後ほど言葉についてお話しします。三井寺という曲を今年やっています。

引用されている和歌

月は山風ぞ時雨に鳩の海：(二条良基) [1320~1388] 南北朝時代の公卿・連歌師。作者の二条良基は、世阿弥と交流があった公家の一人。

二条良基は、北朝で長く摂政・関白をつとめ、広く学芸に通じた公卿で、連歌(れんが)集『菟玖波集(つくばしゅう)』を編んだほか、多くの連歌論書を残しました。世阿弥の幼名「藤若」は、この良基が付けた名前です。良基は世阿弥の容姿や蹴鞠(けまり)・連歌の才能をほめています。良基の句に対して世阿弥がすぐれた句を付けたという記録も残っています。世阿弥の能楽論に良基などの連歌論を応用した部分があることや、能の修辞(しゅうじ)法に連歌の影響がみられることを考えても、幼少期の世阿弥が良基の連歌の会に加わっていた意義はきわめて大きい。

二条良基(元応2年(1320年) - 嘉慶2年/元中5年6月13日(1388年7月16日))
 観阿弥(元弘3年(1333年) - 至徳元年/元中元年5月19日(1384年6月8日))
 世阿弥(貞治2年(1363年) - 嘉吉3年8月8日(1443年9月1日)?)

さざ浪や三井の古寺鐘はあれどむかしにかへる音はきこへず：(三井寺の僧定円)
 三井寺の梵鐘の後日談：「弁慶の引きずり鐘」の故事として知られる。武蔵坊弁慶が鐘を叡山に持って行ったが、鐘を撞くたびに三井寺に「いのういのう」(帰りたい帰りたい)としか鳴らなかった。弁慶が怒って谷間に投げ捨てたとか。

「月は山。風ぞ時雨ににほのうみ。

地上歌「月は山。風ぞ時雨ににほのうみ。風ぞ時雨に鳩の海。波も栗津の森見えて。海(うみ)越(ごし)のかすかに向ふ影なれど月は眞澄(ますみ)の鏡山。山田矢橋(やばせ)の渡舟の夜は通ふ人なくと



シテ

も。月の誘はばおのづから。舟もこがれて出づらん・舟人(ふなびと)もこがれ出づらん

「おもしろの鐘の音(ね)やな。我が古里にては清見寺(きよみでら)の鐘をこそ常は聞馴れしに。これは又ささ波や。三井の古寺(ふるてら)鐘はあれど。昔に返る聲は聞えず。まことや此の鐘は秀郷(ひでさと)とやらんの龍宮より。取りて帰りし鐘なれば。龍女(りゅうにょ)が成佛の縁にまかせて。妾も鐘を撞くべきなり

【幹事報告】

山田 利明



1. 地区事務所より米山カウンセラー会議およびクリスマス会のお知らせ
2. 米山記念奨学会よりハイライトよねやま

ニコニコボックス

♪妻恵美子の誕生日祝い、ありがとうございます。 畝 徳治

♪11月16日で75歳になりました。これからも元気でいようと思います。 山田 利明

合計 4,000 円

出席率

免除以外の 会員	出席免除 会員	出席	メイク	出席率
8	0	4	0	50.0%



長瀬 月の石もみじ公園



宮前 英雄会員



山田 利明会員

